

平成 25 年度版

# 愛知の観光振興施策の実施状況

(平成 24 年度年次報告書)



本書は、愛知県観光振興基本条例第9条第6項の規定に基づき、愛知県観光振興基本計画に定められた観光振興に関する施策の平成24年度の実施状況に関する報告を行うものです。

## 目 次

<b>第1 愛知の観光の現状</b> .....	1
1 観光旅行者の満足度 .....	2
2 県内宿泊者数及び東アジア4か国・地域からの宿泊者数 .....	3
(1) 県内宿泊者数 .....	3
(2) 東アジア4か国・地域からの宿泊者数 .....	3
3 経済的・社会的効果 .....	4
(1) 経済的効果(観光消費額) .....	4
(2) 社会的効果(観光ボランティアガイド数) .....	5
<b>第2 平成24年度における主要な観光振興施策の実施状況</b> .....	6
1 観光資源の発掘・商品化の支援 .....	6
2 プロモーション活動の強化 .....	6
3 観光客の受入体制の充実 .....	9
4 広域観光の推進のための連携強化 .....	9
5 東アジアからの誘客の推進 .....	10
6 MICE(イベント、コンベンション等)の戦略的な誘致 .....	11
<b>第3 平成25年度の主要な観光振興施策</b> .....	12
(参考)愛知県観光振興基本計画推進委員会 .....	14

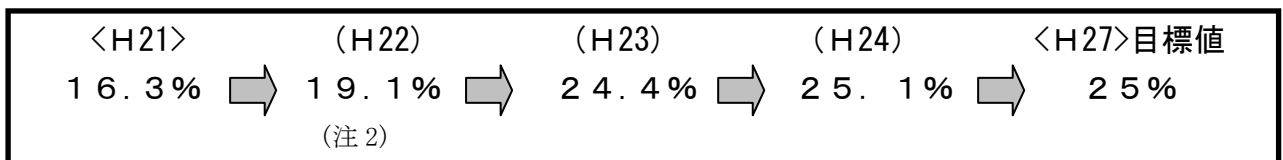
## 第 1 愛知の観光の現状

愛知県観光振興基本計画において、計画期間中(平成 22 年度～27 年度[6 年間])の目標として掲げた 5 つの指標の現況は、次表のとおりであった。

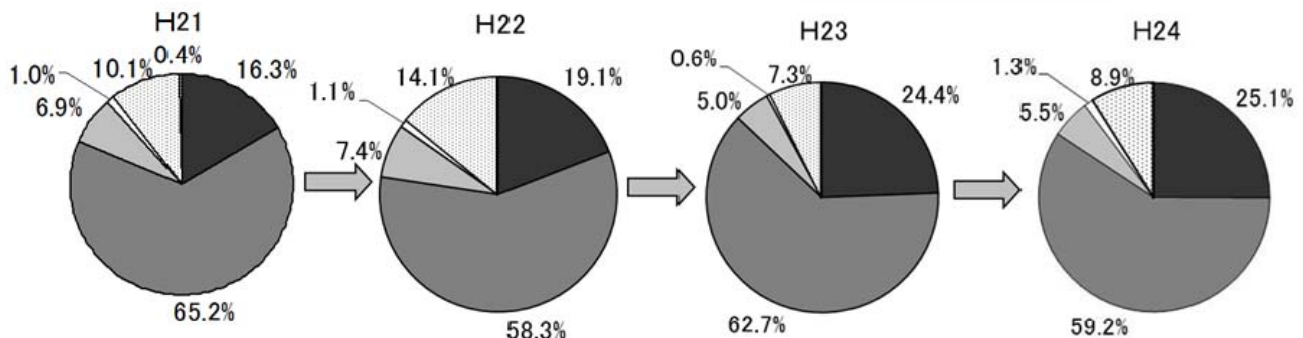
	指 標	目 標 値 (平成 27 年)	計 画 当 初	平成 23 年度 年次報告	現 況
1	観光旅行者の満足度の向上	25%	16.3% (平成 21 年)	24.4% (平成 23 年)	25.1% (平成 24 年)
2	(1)延べ宿泊者数	1,500 万人	1,048 万人 (平成 20 年)	1,087 万人 (平成 23 年)	1,153 万人 (平成 24 年)
	(2)うち東アジア4 か国・地域 (中、台、韓、 香)からの延 べ宿泊者数	150 万人	49 万人 (平成 20 年)	35 万人 (平成 23 年)	45 万人 (平成 24 年)
3	(1)(経済的効果) 観光消費額	1 兆円	5,300 億円 (平成 20 年)	5,050 億円 (平成 23 年)	4,853 億円 (平成 24 年)
	(2)(社会的効果) 観光ボランティアガイド数	3,000 人	2,202 人 (平成 20 年 1 月)	2,712 人 (平成 24 年 1 月)	2,595 人 (平成 25 年 1 月)

# 1 観光旅行者の満足度

- 愛知県を訪れる観光旅行者の満足度については、県内観光地で実施するアンケート調査（注1）において、「非常に満足」と回答する観光旅行者の割合を 25%とすることを目標としている。
- 平成24年のアンケート調査では、25.1%となり、計画期間中の目標である25%を初めて上回った。計画当初の平成21年の16.3%からは8.8ポイント、平成23年の24.4%からは0.7ポイント上昇した。
- 同アンケート調査で、「不満に感じた点」としては、「観光地での駐車場の足りない、未整備」が最も多く、不満を感じた点について回答した者の11.3%。次いで、「道路が渋滞している」が9.8%となっている。

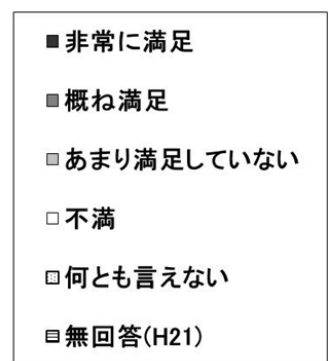


<図1 満足度>



<表1 不満に感じた点（上位5項目）>

不満に感じた点	割合
観光地での駐車場の足りない、未整備	11.3%
道路が渋滞している	9.8%
交通アクセスの便が悪い	7.1%
観光資源・施設に魅力がない	6.8%
買う気になる土産品が少ない	5.7%



資料) 愛知県「観光地実態調査」(平成24年)

(注1) 県内10箇所(名古屋城、東山動植物園、明治村、木曾三川公園 138タワーパーク、中部国際空港見学者、刈谷ハイウェイオアシス、香嵐溪、道の駅どんぐりの里いなぶ、ラグーナ蒲郡、豊川稲荷)において、四半期ごとの休日に、聴き取りによるアンケート調査を実施。

(注2) 「観光旅行者の満足度」の平成22年の数値については、平成22年1月-3月期のデータがないことから、平成22年4月-12月期のデータを使用。

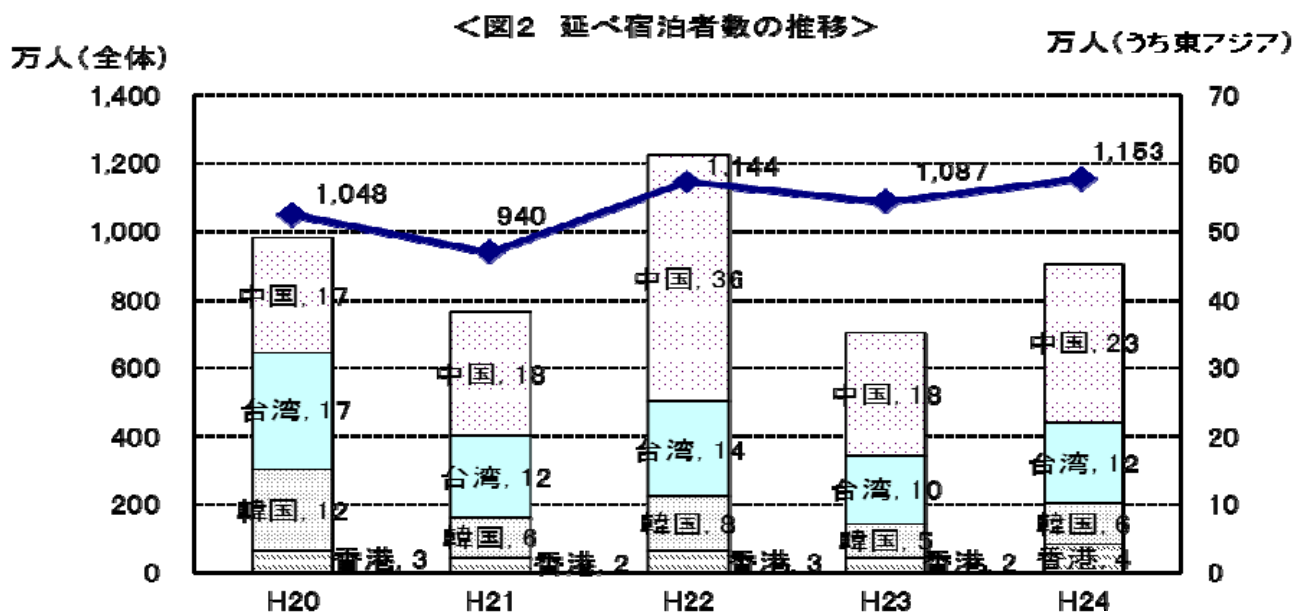
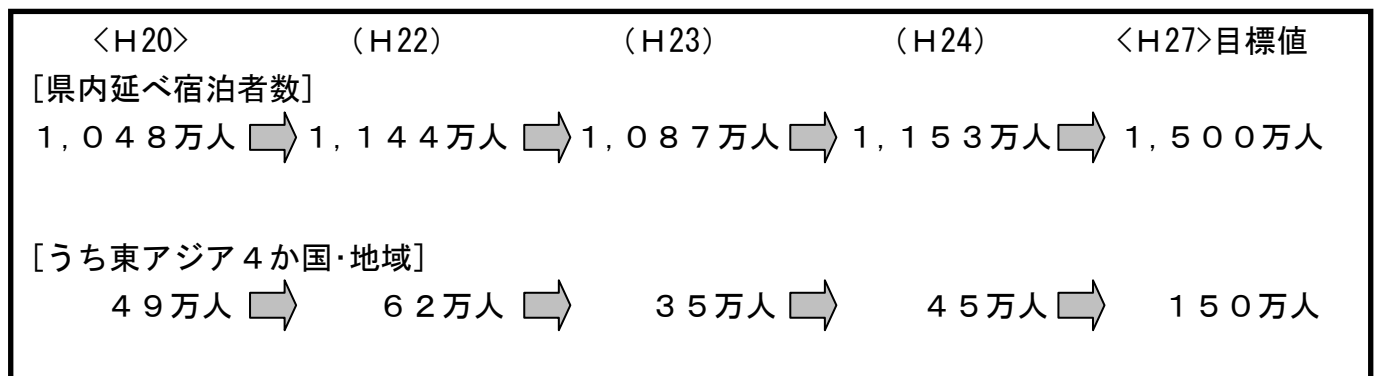
## 2 県内宿泊者数及び東アジア4か国・地域からの宿泊者数

### (1) 県内宿泊者数

- 県内延べ宿泊者数(外国人宿泊者を含む)については、これを 1,500 万人とすることを目標としている。
- 平成 24 年には 1,153 万人となり、平成 20 年の 1,048 万人からは 105 万人増加し、平成 23 年の 1,087 万人からは 66 万人増加したものと推計される。

### (2) 東アジア4か国・地域からの宿泊者数

- 東アジア4か国・地域(中国、台湾、韓国及び香港)からの延べ宿泊者数については、これを 150 万人とすることを目標としている。
- 平成 24 年には 45 万人となり、平成 20 年の 49 万人からは 4 万人減少したが、平成 23 年の 35 万人からは 10 万人増加したものと推計される。
- このうち、中国からの宿泊者数は、23 万人と最も多く、平成 20 年の 17 万人から 6 万人増加し、平成 23 年の 18 万人からは 5 万人増加している。

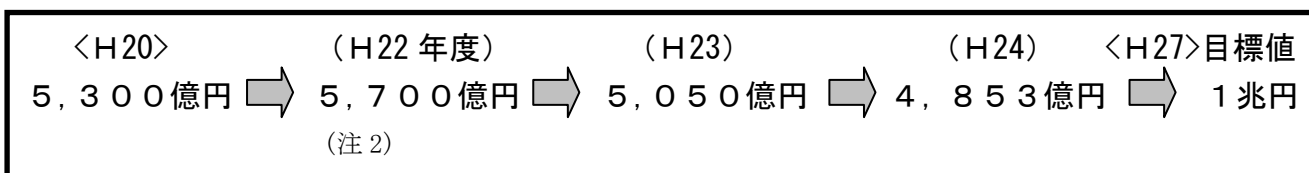


資料)観光庁「宿泊旅行統計調査」

### 3 経済的・社会的効果

#### (1) 経済的効果（観光消費額）

- 県内観光地で実施するアンケート調査において、県内での観光に係る消費金額(宿泊費、交通費、飲食費、土産物代等)に、県内旅行者の実人数を乗じて算出する観光消費額を1兆円とすることを目標としている。
- 平成24年には4,853億円となり、平成20年の5,300億円からは447億円、平成23年度の5,050億円からは197億円減少したものと推測される。(注1)
- その内訳としては、県内在住の旅行者が2,313億円、県外在住の旅行者が2,069億円、訪日外国人が471億円となっている。



<表2 県内旅行者の観光消費額（平成24年）>

単位:百万円

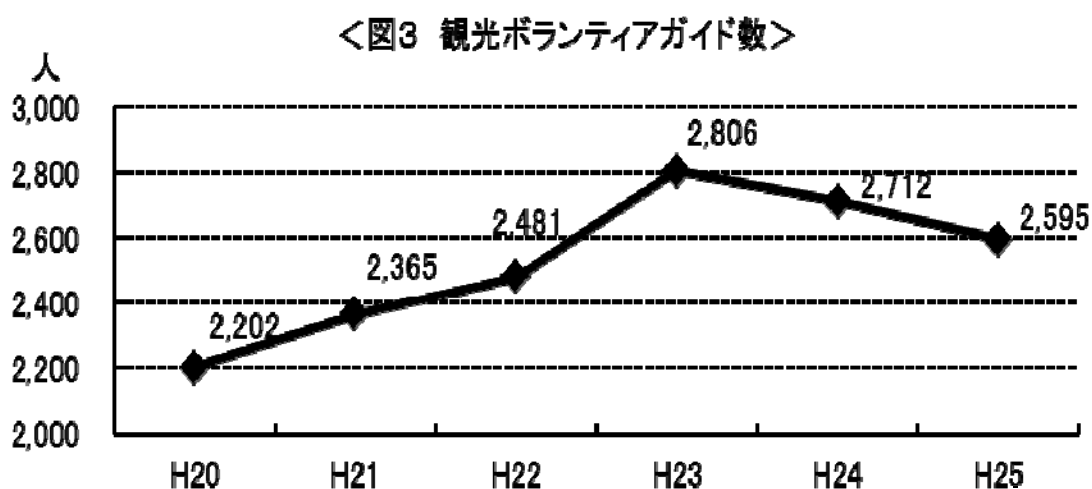
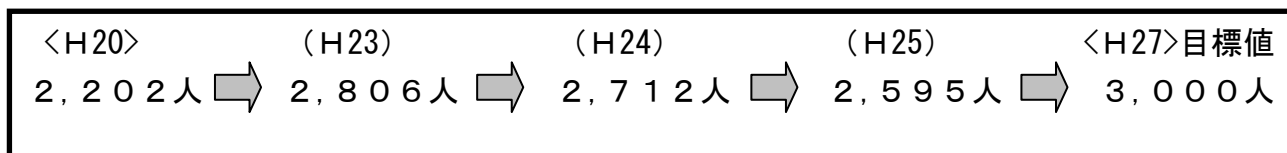
	宿 泊	日 帰 り	合 計
県内在住者	68,502	162,791	231,293
県外在住者	100,776	106,096	206,872
訪日外国人	45,237	1,931	47,168
合 計	214,515	270,818	485,333

(注1)算出に使用している観光庁提供の宿泊者数データは、平成20年時には、従業員数10人以上の施設を対象としていたが、平成22年4月からは、従業員数10人未満の施設を加え、全宿泊施設を対象としている。

(注2)「観光消費額」の平成22年度年次報告の数値については、観光庁の全国共通基準による観光入客統計の平成22年1月-3月期のデータがないことなどから、年度のデータを使用。

(2) 社会的効果（観光ボランティアガイド数）

- 観光ボランティアガイド数は、これを 3,000 人とすることを目標としている。
- 平成 25 年 1 月末時点の観光ボランティアガイド数は 2,595 人となり、平成 20 年 1 月末時点の 2,202 人からは 393 人増加したが、平成 24 年 1 月末の 2,712 人からは 117 人減少した。観光ボランティアガイド数は、平成 16 年以降、全国第 1 位となっている。



資料) 日本観光振興協会資料(各年 1 月末現在)

＜表3 都道府県の観光ボランティアガイド数（平成 25 年 1 月末現在）＞

順位	都道府県名	ガイド数(人)	組織数
1	愛知県	2,595	60
2	奈良県	1,686	43
3	兵庫県	1,552	67
4	山形県	1,418	73
5	北海道	1,373	58
	全国計	39,608	1,661

資料) 日本観光振興協会資料



## 第2 平成24年度における主要な観光振興施策の実施状況

施策	内容	担当課室
<p>1 観光資源の発掘・商品化の支援</p>	<p>○観光事業者、ボランティア等を対象とする「あいち観光まちづくりゼミ」を開催し、地域資源を活かした旅行商品の開発を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミ生:52名</li> <li>・観光コースツアー3回(新城市始め3コース(9月～11月))、フォーラム1回等</li> </ul> <p>○県内各地の観光関係団体等から、地域の特色ある観光資源を活用した、ツアー造成やイベント関連の企画を公募し、その中から特に事業効果の高い企画の商品化等を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施団体:(公財)名古屋観光コンベンションビューロー、祖父江町商工会、蒲郡市観光協会、新城市観光協会</li> </ul> <p>○歴史観光のシンボルである名古屋城の歴史的・文化的価値と魅力を高めるため、名古屋市が行う本丸御殿の復元工事を支援した(経費の一部を助成)。</p>	<p>観光コンベンション課</p>
<p>2 プロモーション活動の強化</p>	<p><b>【武将観光】</b></p> <p>○戦国武将ゆかりの史跡を巡る「武将のふるさと愛知スタンプラリー」を実施するとともに、戦国武将をテーマに活動する団体が一堂に会する「武将サミット」を開催した。</p> <p>&lt;スタンプラリー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間:8月1日～10月31日(夏の陣)、11月3日～1月31日(秋の陣)</li> <li>・参加施設数:25施設(夏の陣)、25施設(秋の陣)</li> <li>・記念品応募者数:2,433名</li> </ul> <p>&lt;武将サミット&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加団体:21団体(県内17、県外4)</li> </ul> <p>○「愛知ゆかりの武将講座」を開催し、武将観光ブランドの浸透を図り、武将観光地への誘客を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数:1回</li> <li>・参加者数:242名</li> </ul> <p>○「あいち戦国姫隊」を継続し、犬山城・岡崎城・清洲城・徳川園での拠点活動、県内外のイベントで、武将観光の魅力をPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動実績:263件</li> </ul>	<p>観光コンベンション課</p>

施策	内容	担当課室
	<p>○信長・秀吉・家康の三英傑ゆかりの地を紹介するパンフレットを増刷した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増刷作成部数:計 5,000 部</li> </ul> <p><b>【産業観光】</b></p> <p>○県及び(社)愛知県観光協会のホームページ「あいちの産業観光」において、産業観光施設やモデルコースを紹介した。</p> <p>○本県、岐阜及び三重の3県が連携し、「産業観光スタンプラリー」を実施し、産業観光施設への誘客を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間: 7月21日～9月30日</li> <li>・参加施設数:194施設(うち愛知県は80施設)</li> <li>・総入場者数:21,648名</li> </ul> <p><b>【街道観光】</b></p> <p>○東海道沿線の6市(名古屋、豊明、知立、岡崎、豊川及び豊橋)との連携の下、旧東海道の観光資源を活用した町歩きキャンペーン、「東海道キャンペーン in あいち『トコトコ東海道』」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間:9月～12月</li> <li>・参加者数:延べ4,985名</li> </ul> <p>○旧街道や宿場町などの歴史的町並みを紹介するガイドブックを作成するとともに、街道を観光コースに入れたモニターツアーを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成部数:18,000部</li> <li>・ツアー参加者数:延べ108名</li> </ul> <p><b>【都市観光】</b></p> <p>○県及び(社)愛知県観光協会のホームページにおいて、「愛知グルメ図鑑」を掲載し、「名古屋めし」や郷土食等のグルメ情報を発信し、本県の食をPRした。</p> <p>○ご当地グルメを提供する店舗を巡る「あいちまるごと食べ隊グルメラリー」や「あいちグルメまるごと食べ隊フェスタ」を開催するとともに、リーフレットを作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレット作成部数:20,000部</li> </ul>	観光コンベンション課

施策	内容	担当課室
	<p>&lt;あいちまるごと食べ隊グルメラリー&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施期間:12月15日～3月15日</li> <li>・参加者数:421名</li> </ul> <p>&lt;あいちグルメまるごと食べ隊フェスタ(開催日:2月17日)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数:35,000名</li> </ul> <p><b>【知多半島観光圏】</b></p> <p>○観光圏整備法に基づき国の認定を受けた「知多半島観光圏協議会」の取組を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セントレアを起点とするショートビジット型観光商品を造成した。</li> <li>・知多半島観光圏全域にわたる多言語マップ「知多半島ぐるっとまっぷ」を作成した。 日本語・英語:各3万部、 中国語(簡体字・繁体字):各1万部</li> </ul> <p><b>【情報発信】</b></p> <p>○市町村から、名所・旧跡・祭り・伝統行事などの図案を公募し、知事等の名刺に使用することにより、県内の魅力ある観光資源をPRした。</p> <p>○(社)愛知県観光協会のホームページや発刊誌において、祭りなど、四季折々のイベントを紹介し、本県の多彩なイベントをPRした。</p> <p>○市町村等が行う観光展・イベントの開催、情報発信等に対して必要な経費の一部を助成し、県内観光地の魅力の発信を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成件数: 8団体 9件(観光展3件、イベント6件)</li> </ul> <p>○首都圏、関西圏において、名古屋市との連携の下、トッププロモーション活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者:(首都圏)旅行社・マスコミ64名、県内旅行関係者69名 計133名 (関西圏)旅行社・マスコミ40名、県内旅行関係者76名 計116名</li> </ul> <p>○首都圏において、本県の「観光のみどころ」と「食」を情報発信するため、観光物産展(開催日:2月9日、10日)を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場:新宿駅西口広場イベントコーナー</li> <li>・販売品目:66事業者から160品目</li> </ul>	<p>観光コンベンション課</p>

施策	内容	担当課室
<p><b>3 観光客の受入体制の充実</b></p>	<p>○「おもてなし愛知県民会議」を開催し、県全体で、おもてなしの気運の醸成を図った。  (開催日:11月12日、参加団体数:行政、観光関係団体、観光事業者、商工団体、地域住民団体 79団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おもてなし宣言」の公募、とりまとめ、発表</li> <li>・「多言語によるおもてなし」をテーマにワーキンググループを開催し、バリアフリーや多言語案内表示の充実など、旅行者の利便性の向上に向けた情報交換を実施した。</li> </ul> <p>○観光ボランティアガイドを対象とする「産業観光あないびと育成研修」を実施し、地域における産業観光の受入体制の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会開催回数: 2回</li> <li>・参加者数:延べ 70名</li> </ul> <p>○(社)愛知県観光協会内に設置した「訪日教育旅行推進センター」が県内学校と調整を行い、海外から修学旅行者の受入を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国を始めとする 7か国・39校 1,143名</li> </ul> <p>○市町村が行う観光案内板、トイレ等の施設整備に対し、必要な経費の一部を助成し、県内観光地の利便性、快適性の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助成件数: 12市町村 13施設</li> </ul>	<p>観光コンベンション課</p>
<p><b>4 広域観光の推進のための連携強化</b></p>	<p>○「中部広域観光推進協議会」(愛知、岐阜、三重、静岡、富山、石川、福井、長野及び滋賀の9県、名古屋、静岡及び浜松の3市のほか、観光関係団体等で構成)において、国内及び海外での観光プロモーション活動を実施した。</p> <p>&lt;国内プロモーション&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京での観光展「旅フェア2012」への出展</li> <li>・東京・大阪での「観光フォーラム」の開催(参加者数:東京186名、大阪243名)</li> </ul> <p>&lt;海外プロモーション&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国: ・北京市、天津市、広州市において、政府関係機関、旅行社、航空会社等への訪問、観光セミナー、商談会の開催(商談会参加現地旅行社等:北京市88名、広州市77名)</li> <li>・中華圏から中部へ観光客誘致を目的とした「昇龍道プロジェクト」の一環として、上海市、杭州市において、政府関係機関、旅行社等への訪問、観光セミナー、商談会の開催(商談会参加現地旅行社等:上海市84名、杭州市42名)</li> </ul>	<p>観光コンベンション課</p>

施策	内容	担当課室
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国：中部への旅行商品の造成を図るため、ソウル市、釜山市の旅行社、メディアの招請（4コース39名）</li> <li>・台湾：台北国際旅行博(ITF2012)への出展、観光庁主催の商談会への参加、政府関係機関、旅行社、航空会社等への訪問(商談会参加現地旅行社等:219名)</li> <li>・タイ：バンコクにおいて、旅行社への訪問、観光セミナー、商談会の開催(商談会参加現地旅行社等:77名)</li> </ul> <p>○「東海地区外国人観光客誘致促進協議会」(愛知、静岡、岐阜及び三重の4県、名古屋、静岡及び浜松の3市のほか、観光関係団体等で構成)において、海外での観光プロモーション及び招請事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイ：バンコクにおいて、旅行会社セールススクール、観光説明会、商談会の開催。インセンティブツアーをテーマに招請(旅行社3名、メディア1名)</li> <li>・香港：グルメをテーマに招請(メディア3名)、旅行社への広告支援(2社)</li> <li>・台湾：レンタカーの旅をテーマに招請(旅行社2名、メディア3名)</li> </ul> <p>○本県、岐阜及び三重の3県が連携し、「産業観光スタンプラリー」を実施し、産業観光施設への誘客を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間:7月21日～9月30日</li> <li>・参加施設数:194施設(うち愛知県は80施設)</li> <li>・総入場者数:21,648名 《再掲》</li> </ul> <p>○「鳥羽伊良湖航路活性化協議会」(田原市及び鳥羽市が中心となり設立)に参画し、旅行商品の企画造成を中心として、航路の利用促進に取り組んだ。</p>	交通対策課
5 東アジアからの誘客の推進	<p>○韓国(ソウル)において、トッププロモーション活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国:政府機関(外交通商部、文化観光部)、現地旅行社への訪問セールス、現地旅行社と県内の観光事業者との商談会(15社)、交流会の開催</li> </ul> <p>○台湾(台北市・台中市)において、プロモーション活動を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・台北市:観光説明会及び商談会の開催(11社)</li> <li>・台中市:観光説明会及び商談会の開催(19社)</li> </ul>	観光コンベンション課

施策	内容	担当課室
	<p>○韓国(ソウル及び近郊)において、本県の観光と「食」を一体的にPRする観光物産展を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催期間:11月16日～12月6日の間、1週間ずつ3店舗をキャラバン開催</li> <li>・会場:ロッテ百貨店蚕室(チャムシル)店始め3店舗</li> <li>・販売品目:11事業者から19品目</li> </ul> <p>○「中部広域観光推進協議会」及び「東海地区外国人観光客誘致促進協議会」を通じ、海外での誘客活動を実施した。《再掲》</p> <p>○(社)愛知県観光協会内に設置した「訪日教育旅行推進センター」が、県内学校と調整を行い、海外から教育旅行者の受入を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国を始めとする 7か国39校 1,143名 《再掲》</li> </ul>	
<p><b>6 MICE (イベント、コンベンション等) (※)の戦略的な誘致</b></p> <p>※「MICE」とは、企業などが行う会議(Meeting)、企業が行う報奨・研修旅行(Incentive Travel)、国際会議(Convention)、イベント、展示会・見本市(Event/Exhibition)の総称</p>	<p>○ MICE誘致推進のため、名古屋市との連携の下、我が国唯一のMICE専門見本市である「国際ミーティングエキスポ」に参加するとともに、アフターコンベンション(※)促進事業を実施するなど、当地域がMICE開催についての適地であることをPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「2012年国際航空宇宙展」への地元芸能団体の派遣</li> <li>・「マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2013」における外国人招待選手への有松絞着付体験の提供 など</li> </ul> <p>※「アフターコンベンション」とは、会議・学会・展示会等の後に設定される催しや懇親会、視察旅行等のこと。</p> <p>○「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」(平成26年)の成功に向け、支援実行委員会を設立し、開催支援計画を策定した。</p> <p>○「あいちトリエンナーレ2013」の開催準備として、現代美術の出品作家の選定、展示計画の作成及び舞台芸術の出演団体、公演内容の決定をした。</p> <p>○2005年日本国際博覧会(愛・地球博)10周年となる平成27年度に開催する「全国都市緑化フェア」の開催準備として、基本構想案を作成した。</p> <p>○「技能五輪・アビリンピックあいち大会2014」の開催に向け、県内の関係機関・団体で構成する地元推進組織である推進協議会を設立した。</p>	<p>観光コンベンション課</p> <p>ESD会議支援室</p> <p>国際芸術祭推進室</p> <p>全国都市緑化フェア推進室</p> <p>技能五輪・アビリンピック推進室</p>

## 第3 平成25年度の主要な観光振興施策

### 1 観光資源の発掘・商品化の支援

#### ○地域提案公募による観光の振興

地域の観光関係団体等から、環境観光、グリーンツーリズム、ベイツーリズムなど、地域資源を活用したツアー造成やイベント開催の企画を公募し、その中から、特に事業効果の高いものについて、商品化等を支援する。

B-1グランプリ開催を契機に、東三河地域の観光資源を活用した観光商品の開発を支援する。

#### ○着地型旅行商品の開発の促進

「あいち観光まちづくりゼミ」において、ゼミ生が企画した観光コースについて、一般客を対象としたツアーを実施し、その意見を踏まえ、さらに魅力のある観光コースの商品化を促進する。

### 2 プロモーション活動の強化

#### ○トッププロモーションの実施

名古屋市と連携し、首都圏及び関西圏において、観光トッププロモーションイベントを開催し、大きな観光需要が見込まれるそれらの地域からの観光客の拡大を図る。

#### ○観光キャンペーンの展開

官民一体となったPRイベントの開催や旅行会社に対するPR活動などの観光キャンペーンを展開し、内外からの観光客の拡大を図る。

### 3 観光客の受入体制の充実

#### ○「おもてなし愛知県民会議」の活動の推進

県全体でおもてなしの機運を醸成するため、おもてなし宣言の公募、ポスター、ステッカー等による啓発を行うとともに、バリアフリーの充実や案内表示の多言語化、銀聯カードの普及など、内外からの観光客の利便性向上を図る。

### 4 広域観光の推進のための連携強化

#### ○他県等との連携による観光プロモーション活動等の実施

「中部広域観光推進協議会」や「東海地区外国人観光客誘致促進協議会」の活動を通じ、内外の観光展への出展、周遊コースの造成支援、現地旅行会社の招聘、セミナーの開催等により、観光客の拡大を図る。

#### ○中華圏等を対象とするプロモーション活動の実施

「昇龍道プロジェクト推進協議会」が実施する中華圏等を対象にした観光プロモーション事業に参加し、当地の知名度アップ及び当該地域からの観光客の拡大を図る。

### 5 東アジアからの誘客の推進

#### ○中国及び香港を対象とするプロモーション活動の実施

訪日観光客の増加が引き続き見込める中国及び香港からの誘客を推進するため、広東省深圳市及び香港において、旅行会社への訪問を中心としたプロモーション活動を実施する。

#### ○韓国を対象とするプロモーション活動の実施

回復が遅れている韓国からの観光客を増加させるため、釜山市に知事が渡航し、政府関係機関、大手旅行社等への訪問、商談会などのプロモーション活動を実施する。

### 6 MICE（イベント、コンベンション等）の戦略的な誘致・支援

#### ○MICE誘致の推進

国が実施する「MICEマーケティング戦略高度化事業」に名古屋市と共同で参加し、地域の強み・弱みの分析、MICE市場動向の把握、ステークホルダー(関係者)の連携促進などに取り組む。

#### ○大型イベントの開催準備・支援

「B-1グランプリ in 豊川」の開催を支援するとともに、2014年開催予定の「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」や「技能五輪・アビリンピックあいち大会2014」、2015年開催予定の「全国都市緑化フェア」の開催準備に取り組む。



**(参考) 愛知県観光振興基本計画推進委員会**

「愛知県観光振興基本計画」の議会への報告及び公表に当たり、下表の委員で構成する「愛知県観光振興基本計画推進委員会」を開催し、基本計画に基づく施策の実施状況や今後の施策展開に対するご意見をいただいた。

(五十音順・敬称略)

氏名	所属・職名
楠 伸子	公益財団法人名古屋観光コンベンションビューロー 専務理事
西村 哲治	公益社団法人日本観光振興協会中部支部事務局長
(委員長) 森川 敏育	桜花学園大学観光総合研究所所長
山内 均	一般社団法人愛知県観光協会専務理事
山本 勝子	日本福祉大学知多半島総合研究所副所長
山本 正雄	名古屋市市民経済局文化観光部長

平成25年度版愛知の観光振興施策の実施状況

(平成24年度年次報告書)

平成25年10月発行

愛知県産業労働部観光コンベンション課

〒460-8501名古屋市中区三の丸三丁目1番2号

電話 052-954-6353(ダイヤルイン)

ホームページ:<http://www.pref.aichi.jp/kanko/>